

全国学力・学習状況調査について(算数)

5月27日(木)に実施しました全国学力・学習状況調査についての本校の課題をまとめてみました。今月は算数です。

出題傾向をみると、出題数はそれほど多くはなく難問はありませんでした。全体的に、自身で問題の式を立て、正しく計算をして答えを導き出すというより、答えを導き出す過程や、考え方を問う問題が中心でした。

例えば、地域めぐりをするのに2つのコースがあり、歩いて行く場合、どちらのコースの方が距離が短いのかや、かかる時間、歩く速さを考える問題です。実は問題の中に、必要な情報がほとんど出ており、それをもとに考えれば答えられるようになっています。

図形問題でも同じで、面積を求めるのが目的ではなく、面積を求めるためには、どの長さに着目するかを説明する力が問われています。

また、統計的な問題では、本の貸し出し冊数のグラフをもとに、貸し出し冊数を増やすためには、データのうちのどの数字に着目すればよいか、足りない情報は何か、が問われています。

このような出題傾向であれば、まずはそういったタイプの問題に慣れることが対策として考えられます。国語も同じですが問題に慣れることで「解き方」を理解でき、心理的な負担も減ります。ただし、それだけで力がつくわけではありません。

本校では、反復練習により四則計算等の基礎的な処理は習得できているかもしれませんが、なぜその式になるのかを理解する力、また生活の中で数学的思考を活用する力に課題があるようです。

速さの問題で、「分速540mのバスが2700m進むのにかかる時間を求める式を書く」というものがありました。答えられない子どもが多かったです。速さの問題は苦手意識が高いのですが、速さは生活の中でなじみがあるはず。公式として「時間=道のり÷速さ」を覚えることも必要かもしれませんが、なぜそうなのか?をしっかりと理解し定着させなければなりません。そのためには、算数以外の教科や普段の生活でも算数で習ったことを使うことが大切です。

次に、問題から必要な情報を探し出すことにも課題があります。これは他の教科で取り組んでいる調べ学習にも関係しています。調べるときには根拠となるデータを集めることが大切ですが、ネットや書籍でただデータをたくさん集めるだけでは意味がありません。なぜそのデータが必要なのか、そのデータにはどういう説得力があるのかを理解して使わないといけません。

学力・学習状況調査は国語と算数の教科のみですが、分析してみると、つけたい力は共通していることがわかります。小学校は令和2年度(2020年度)から新学習指導要領がスタートしていますが、文部科学省の「学校で学んだことが、明日、そして将来につながるように、子供の学びが進化します」というキャッチフレーズが表しているとおり、国語や算数で学んだことを他の教科や生活でも活用できることが今後の課題になっています。学校としても、学力・学習状況調査の結果をふまえた実践に取り組んでいきます。

子どもたちは、迷路やパズル、謎解きは大好きで集中して取り組みます。自分で物事を解決することが楽しいからです。学習でも同じことが言えます。「学ぶことが楽しい」「自分で解けてうれしい」、そんな経験を積み重ねていけるように工夫していきたいと考えています。

(⇒裏面に設問3を参考としてのせます。後日、全問題をHPにも掲載できるようにします。)

登校時間についてのお願い

最近、8時30分以降に登校してくる子どもたちが多く感じていました。学校は8時30分が始業です。8時30分には教室で朝の準備を終えた状態で着席していなければなりません。厳密に言うと、8時30分に着席していない場合は、「遅刻」となります。

1時間目は8時50分からです。その前の8時30分～8時50分の朝の時間は、健康観察(毎日)、全校朝会(月)、朝学習(火・木・金)、朝読書(水)などの教育活動を行っています。

全校朝会は、生活指導や学習規律、行事に関すること、5・6年生の委員会活動報告などを全校の子どもたちに伝える大事な機会です。

また、朝の時間は学習への「スイッチ」を切り替える時間でもあります。朝起きてまだなんとなく眠たい頭や体ですが、朝の時間により「準備体操」をすることで、1時間目の授業に取り組むことができるのです。

では、8時30分に着席できていない子どもたちが何人いるのか登校状況を実際に調べてみました。

調査日	11月17日(水)、19日(金)、22日(月)	
場所	下足室	
①8時25分～8時30分の登校人数	約30人	この時間帯に下足室にいる子どもは、8時30分に教室で着席できていない可能性が高いので数えています。
②8時30分～8時50分の登校人数	約30人	8時30分以降も多く子どもたちが登校していることがわかりました。

調べてみた結果、8時30分に教室で朝の準備(※)を終えた状態で着席できていないだろう子どもは毎日約60人いることがわかりました。

※教科書・ノートをかばんから出して机の中に入れる、ロッカーにかばんをかたづける、宿題や健康観察カードを提出する、トイレや水分補給をすます…など

学年によって特にかたよりはなく、低から高学年までだいたい同じ人数でした。曜日では月曜日は②の時間帯が他より多かったです。雨が降っていたことも原因と考えられたので曜日でも大差はありませんでした。

また、子どもたちをみていると、その日にたまたま遅れたのではなく、ほぼ毎日同じ子どもたちだということがわかりました。中には友だちと話をしながら慌てる様子もなくゆっくり歩いて来る子どもも見られました。

約60人という人数は、豊島小学校でいうと、だいたい9～10人に1人は遅れて登校していることとなります。

⇒裏につづく

ご家庭へのお願いです。

- **8時～8時20分の時間帯に登校できるようにお願いします。**
(朝ご飯も食べられるよう余裕をもって起床しましょう)
- **遅刻しないで登校できているのか子どもに聞いてみてください。**
(家は早く出ているのに、友だちと合流して遅くなっているかもしれません)

毎日規則正しく寝る、起きる、時間を守って登校する等の基本的な生活習慣は、小学生のうちに必ず身につけておきたい力です。学校でも指導をしますが、ご家庭でのご協力をどうかよろしくお願いします。